



# ふれあい

2011年6月  
現在の会員数  
男性 1,396名  
女性 539名  
合計 1,935名

No. 130  
2011年/7月

題字 府中市長 野口忠直 書

公益社団法人府中市シルバー人材センター発行/府中市寿町3-2 ふれあい会館2F/TEL042-366-2322



目次

- 第62回定時総会を開催 ..... 2
- 地域懇談会開催 ..... 3
- 安全管理委員研修 ..... 4
- 振り込め詐欺にご注意 ..... 4
- 多摩川清掃等ボランティア活動 ..... 5
- 中部区域ボランティア活動 ..... 5
- 班長・役員・地域委員合同会議 ..... 6
- 新町文化センター職場訪問 ..... 6
- 入会説明会見学 ..... 7
- 「ゆうゆう」だより ..... 7
- シルバー川柳 ..... 7
- センター活動の写真 ..... 8

## 東日本大震災義援金のご報告

この度は、「東日本大震災」義援金募金活動にご協力いただきましてありがとうございました。

当センターにおける募金活動の結果、合計で108,972円が集まりました。

お寄せいただきました義援金は、そのうち38,431円を府中市福祉保健部地域福祉推進課に、70,541円を府中市社会福祉協議会に寄付させていただき、それぞれ被災地に届けられます。

また、センターからも、東北地方シルバー連合に義援金50,000円を寄付させていただきました。

# 第62回定時総会を開催

## 公益法人移行後初の総会

### 総会運営規則、22年度決算報告を承認

公益社団法人移行後初の総会となる第62

回定時総会が、平成23

年

6月

17日(金)午後1時より府中の森芸術劇場どりーむホールにおいて開催されました。

西隈副会長の開会のあいさつで始まり、本間会長から野口忠直府中市長様をはじめ、来賓の皆様のご臨席に謝辞を述べられたあと次のようなあいさつをされました。

「私どもは、新しい公益法人改革法により、これからの進むべき方向として、先般、会員の総意で公益社団法人を選択いたしました。これからは、「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」に基づくセンターとして、会員皆様とともに、決意も新たに、高齢者の生きがいの創造と地域社会貢献活動に積極的に取り組んでまいり所存であります。昭和52年7月に高齢者事業団として発足以来変

転著しい社会経済状況の中で、幾多の困難を克服し、確固たる基盤を築かれた先輩各位のご努力に改めて敬意と感謝を申し上げますとともに、特に、本日、表彰規程に基づき顕彰させていただきます、前任の役員並びに永年就業会員の皆様のご労苦に感謝と御礼を申し上げる次第であります。

さて、平成22年度の事業並びに決算につきましては、長引く景気の低迷に加えて、このたびの東日本大震災の影響により、事業実績は、残念ながら、前年対比、マイナス1.7%、金額にして一、四八四万円の減額で、八億二千五百八十六万円にとどまっております。なお、一層、就業の拡大と、経営の安定に努めてまいりたいと存じます。

経済情勢は、一層の不況感が進み、平成23年度も前途多難な経営環境にある訳でございますが、今こそ、会員一丸となって、センターの基本理念であります、共働・共助の精神を発揮し、就業の開拓とともに

ワークシェアリング等、知恵を出し合い、この困難を克服し、公益法人初年度の事業が円滑に展開できますよう、皆様のご指導、ご協力をお願いいたします。」

次いで、来賓のあいさつに移り、野口忠直府中市長様、村木茂府中市議会議長様より、「祝辞を頂きました。

また、遠田宗雄府中市議会副議長様、奈良崎久和府中市議会厚生経済委員長様、根岸栄子府中公共職業安定所長様、堤薫むさし府中商工会議所専務理事様、堀江勇介府中市老人クラブ連合会長様には時間の都合もありご紹介して、ご会釈を賜りました。



役員表彰 遠藤前副会長

た。

来賓者退席のち会員表彰に移り、退任された理事、監事に表彰が、また永年就業会員は男性は白根実さん81歳が、女性は横山時子さん85歳が代表して表彰されました。

議事に入り、新総会議事運営規則により今回は会長が議長席につき、あらかじめ配布された議案書に従い、あらはじめ配布された議案書に従い、洪谷常務理事が、「総会運営規則の制定(案)」平成22年度一般会計決算報告」を説明、市川監事の「監査報告」も了承され、次に「平成22年度事業実施報告」が逐一詳細にわ

たり、**●第62回定時総会表彰者●**と満場一致の拍手で遠藤長子理事と若林友喜理事が、**最優秀就業奨励賞**と、**一部変更報告が(会員)**

- 岩淵松生 小川さえ 小倉美子
- 御野 進 柏倉重隆 木下尚子
- 小林勝好 小宮力藏 佐々木マキ
- 穴倉明雄 洪谷喜世子 白根 実
- 仙北谷勲 高田正夫 田部純雄
- 奈良 昇 根本 進 羽田 亮
- 古川利弘 真壁貞夫 松本淑子
- 三浦勝子 三坂益路 宮崎恵子
- 村田藤夫 安掛末夫 横山時子
- 若林友喜



地域懇談会開催  
活発な意見の交換で賑やかに

6月29日(水)午後1時30分

分 本町1丁目公会堂で、中部区域中央A地域の地域懇談会が開催されました。

出席者は事務局から渋谷事務局長、斉藤局長代理、小谷田主任のほか荒木・山本の就業開拓員の5名、地域からは棟方・芝原の両理事、芝辻地域委員のほか26名、計31名が出席し、賑やかな会合となりました。

議事は芝辻地域委員の司会で進行し、渋谷事務局長があいさつの中で、



中央(A)地域懇談会

- ① 会員の意識改革が必要
- ② 市からの補助金削減によるセンター費用削減や配分金支払いを25日に変更したこと
- ③ 地域奉仕活動への積極参加の要請
- ④ 自転車事故多発や高所作業重篤事故発生に伴い、危険作業等の年齢制限の自主的実施

また、自転車保険への加入を奨励していること等が話されました。

次に斉藤局長代理から就業現況の説明があり、棟方総務担当理事から「会員の資質のレベルアップが急務で会員研修を検討中である。」芝原地域担当理事から「地域活動を活発に推進する必要があるが、当地区のけやき並木の毎月の清掃はセンターの模範となっている」とのあいさつがありました。

次に全員の意見発表に移り、芝辻地域委員が会員を紹介しながら発言を促していききました。

○東府中南自転車駐車場管理は6時から23時の勤務を本年から6時30分から20時に変更、全員が満足し「あいさつをキチンとやりましょう」を合言葉に頑張っています。(宮西町)

○除草班11名は働く意欲を持って、チームワークを育て元気で働いている。(宮西町)

○郷土の森公園の釣り堀には大人・子供多数来られるが、迷惑行為をしたときはキチンと意見を言う。これが長続きする仕事の基本(宮町)

○大国魂神社横の国衙のカギ開閉を担当、頑張っている。(宮町)

○病院清掃で早朝辛いが丸5年、80歳を目指してがんばっている。(宮町)

○分倍河原駅南側清掃担当10年、みなさんに気持ち良く通って頂くため朝5時30分からやっています。(矢崎町)

○「お金より社会に貢献する喜



中央(B)地域懇談会

び」で慣れないパソコンの仕事も若い人に馬鹿にされても踏ん張っています。(矢崎町)

○市の駐車場管理業務で3年交代の規定が守られていない。1年も越えている現状がある。(矢崎町)

○作業手順が統一されていない。(矢崎町)

などの意見がありました。懇談会は30名がちょうど入る和室で飲み物、お茶菓子の和やかな雰囲気が進められ、会員さんたちは皆さんがそれぞれ高い意識を持って就業されていることがうかがえる有意義な地域懇談



紅葉丘地域懇談会



「安全・安心は日頃の備えから」  
● 新任安全管理委員研修報告 ●

公益財団法人「東京しごと財団」主催、講師は丸山眞廣（安全就業・ハトロール指導員）氏で開かれた勉強会は、対象を東京都の市町村、シルバー人材センター新任安全担当理事を対象に場所を国分寺労政会館内会議室において、平成23年5月19日（木）午後2時から開催されました。

当センターからは、和田・三坂両理事が新任安全委員として研修に参加いたしました。

折りしも、この3月にわが国を襲った東日本大震災および原発事故では、シルバー人材センターの活動にも大きな影響が出ています。文字通りの「危機管理」（災害、感染症、熱中症等）には日頃の備えが重要です。身近な備えとしては、

- ① 防災対策：東海地震対応
- ② 感染症対策：  
食中毒（O111）による感染
- ③ 放射能に関する正しい情報収集：

HPの活用、風評被害の回避  
④ 熱中症対策：省エネ、節電下の猛暑対応（水分、塩分、休息補強）

等々は我がシルバー人材センター活動でも喫緊の対策といえそうです。本論のテーマは「安全就業について」

- (1) 安全についての基本
- (2) 安全管理委員の職務
- (3) 連合の安全対策
- (4) 安全管理委員会の活動、

の諸項目について概論が説明されました。

そして勉強会の結論としては「安全に関するセンターと会員との契約」は、唯一「安全就業基準」の遵守にあると総括されました。



振り込め詐欺  
訪問販売にご注意！

府中市内の平成23年5月26日現在の振り込め詐欺発生状況は「ウソの電話」が146件、そのうち「振り込め詐欺被害」が10件、被害額は実に一千六百万円の高額に上っています。

「点検をします」と震災による電気が、水道の点検を口実として、電力会社、ガス会社社員等を騙った戸別訪問も横行しています。

正規戸別訪問の場合は必ず社員証を携行し、料金の請求はしません。訪問者があつたら：簡単にドアを開けない！インターフォン越しやチェーンを懸けたまま対応しましょう。

少しでも怪しいと感じたら、躊躇せず警察に通報しましょう。



振り込め詐欺の実例  
府中市安全安心メールから

実例1 5月30日、片町、白糸台を中心に複数の府中市内の高齢者宅に、また6月16日には若松町・天神町を中心に複数の高齢者宅に、息子を名乗り「風邪をひいてしまったので声が変わっている。携帯電話の番号が変わったので登録しておいて」という電話が入っています。振り込め詐欺犯人は、同一地域の多数の方に電話をかけ、その後、金銭の要求をしますので、絶対にだまされなくてください。また、必ず元の携帯の電話番号に掛けないおし、確認するよう心掛けてください。

実例2 6月20日、美好町の70歳代女性宅に、息子を名乗る男から「僕だけど、携帯電話番号が変わったから登録しておいて」と電話が掛かってきました。

その後、息子を名乗る男から「投資資金に50万円が必要になった。A運輸のBさんが取りに行くので用意して欲しい」と電話が掛かってきました。被害者の女性は、息子を助きたい一心で取りに来た犯人の男に、現金50万円を渡してしまいました。



## ● 会員ボランティア活動 ● 市民とともに多摩川清掃に参加

5月8日(日)午前9時から行われた府中市の多摩川清掃作業に、府中市シルバー人材センターもボランティア活動の一環として参加しました。

当日は心配された降雨もなく、汗ばむほどの晴天に恵まれ、当センターから会員150名ほどが元気に参集しました。例年のとおり多くの団体が地域を分担して清掃作業に当たったなか、当センターの受け持ち場所は昨年と同じくレクリエーション広場付近でした。多摩



川河畔は日ごろから訪れる人達がエチケットをよく守っているため、大きな目だつた汚れもなく、私たちの清掃作業は細かいタバコの吸殻拾いなどが中心でしたが、それでも30分ほどの清掃作業のあとは、何か周辺が見違えるほどきれいになっていました。

皆様が早朝から力を合わせてボランティア活動に励んでおられる姿に接して、改めて当センターの存在意義を再確認することが出来ました。  
ご協力頂きまして本当に有難うございました。



## 中部区域中央A・B地域の ボランティア活動の取組と推進

平成23年4月からの公益社団法人への移行に伴い会員の地域社会奉仕(ボランティア)活動の充実・強化が求められたことを契機に、中央A・B地域の会員が自主的に計画し実施するボランティア活動の模索を昨年の5月から始めました。

府中市環境政策課が窓口になっていて、府中市の表玄関にあたる旧甲州街道から新甲州街道までのけやき並木通りの植え込みや歩道を定期的に自主清掃(環境美化)するボランティア活動が可能となり、昨年の11月から開始しています。毎月10日を活動日とし、午前8時45分に府中駅北口みずほ銀行前に集合し、参加者名簿をチェックし、携行したボランティアカードに捺印を受け、活動に向けての注意事項を確認し合い、約30分の活動を行います。

収集したごみは、ごみ袋に分別し、指定の場所に置き、清掃道具は所定の保管場所へ戻し、次回の日程等を確認しあつて午前9時45分ご



(中央地区の清掃ボランティア)

ろに解散します。活動への参加者は、参加登録者60名のうち、毎月20名前後になっています。

今後の課題は、活動の継続と参加者の増員を図ることです。合わせて、ボランティア活動について、会員の皆さんからのご意見、ご提案をいただき、話し合う機会を設けて、階段を一段一段上がるつもりで推進していくことです。

会員の皆様のご理解とご協力を特にお願いたします。

中央B地域 地域委員

大久保勝彦



班長・役員・地域委員合同会議  
新体制の総会運営などを討議

6月3日(金)午前10時より「ふれあい会館」5階第4会議室で平成23年度班長・役員・地域委員合同会議が開催されました。

議題は公益社団法人移行後初めての第62回定時総会に向けての進め方が主題で、会員から議長の選出は行われず会長が進行し、年1回の開催となるなど従来からの違いが説明されました。

平成22年度の事業実施報告と一般会計決算報告で3月の東日本大震災の影響を受けて減収となったなどが、報告されました。

「規程集」も新たに公益法人化を受けて改定され、事業の公益的・公共的性格を明確化し、法的安定を図り修正されました。

最後に地域活動計画と実施について各地域の地域委員、班長、役員の情報交換・会議の促進と年1回開催の各地域懇談会の実施日程等が確定、また地域ボランティア活動について話し合いがなされました。

働く会員の職場訪問記  
「新町文化センター」

府中市民が、身近でいつでも気軽に利用できる施設として、市内に11文化センターが配置されています。

各センターでは戸籍、住民票、印鑑証明などの受付交付事務や市民の生活文化の振興、社会福祉の増進を図る地区公民館、児童に健全な遊びをとおし、健康の増進と情操を豊かにする目的の地区児童館、高齢者の憩いの場としての地区高齢



所長との打ち合わせに臨む会員



お客様とは笑顔で応対

者福祉館、市民が図書に触れる機会の場としての地区図書館など、多目的複合施設になっています。

今回はその中のひとつ、「新町文化センター」で働く会員の職場訪問記をご紹介します。

①センター業務員の就業は、祝日、年末年始、臨時休館日を除く土曜・日曜日および平日の夜間、すなわち市職員の隙間就業です。

②就業は、ひと月10日〜12日前後を人員6名で埋めるワークシェアリング体制で、就業期間は原

則3年間。

③業務内容は、館内外の管理業務、粗大ごみシールの販売、家庭廃食用油の回収、自治会回覧物配布等の業務で勤務形態は常時2人ペアで対応。

5月31日の訪問当日、新町文化センターの須藤所長から伺ったセンター業務員への勤務評価は、「対職員、対地域住民ともに上々」との、お褒めのお言葉を戴きました。

また、センター業務員から伺った仕事の満足度および仲間との協力・強調整も十分に保たれております。なお、就業時の基本姿勢が、市職員並みに市民への対応を重視して、親切・丁寧・対人トラブル皆無をモットーに日頃の業務が執り行われております。

さらに就業時の安全管理面でも全員の健康が保たれており、これまで重篤な災厄にも見舞われておらず、したがって日頃の危機管理も十分に行われている様



### 入会説明会を覗いてみました 6月は30名が新会員に!

6月の入会説明会が6月7日(火)午前9時から12

時まで、ふれあい会館5階会議室で開催されました。5月末に府中市内の全戸に当センターのチラシを配布した効果もあつて50名以上の大勢の方が説明会に参加されました。

まず本間会長がセンターの理念や概要の説明に立ち、当センターは昭和52年に発足し、現在は町田に次ぐ規模で運営されているとの説明がありました。

続いてビデオが約20分放映され、当センターの現状が紹介されました。

その後、約2時間にわたり、資料に沿



本間会長の説明を聞く入会希望者



会場の四隅に分かれて面接

つて懇切丁寧な説明があり、センターは臨時的かつ短期的な就業で、生き甲斐の充実や社会参加の推進を図るもので、収入の確保には繋がらない等、具体的な事例も紹介されたので、参加者には十分なご理解が得られたのではないかと思います。

次いで翌週の6月14日(火)午前9時から説明会と同じ会場で入会面接が開催されました。

先週の説明会を納得された40名弱の参加者が、あらかじめ指定を受けた面接時間に順次来場しました。

会場は四つのテーブルに面接担当の委員が2名ずつに分かれて待機し、入会希望者一人30

分以内で面接が実施されました。面接に当たった各委員さん達は、大変親しみやすい感じで入会希望者に接して

### 『ゆうゆう』だより 営業時間と休業日変更

4月から『ゆうゆう』の営業時間と定休日が変更になっています。

- 一、休業日  
日祭日のほかに毎週木曜日
- 二、営業時間  
10時から17時30分まで

また、定休日とした木曜日のうち第2・第4木曜日には『ゆうゆう』事務所を「小物班」が小物作成に使用します。その他の『ゆうゆう』の業務は従来と変わりません。

センターのアンテナショップとして、「会員の皆様へのお仕事情報の案内」「センター事業の案内と受付」等他に「洋服等のリフォーム」「大人・子供向けの書道教室」「刃物研ぎ」等の実施と「手作り作品の販売」「会員の皆様の絵画・写真・書道」などの展示等を行う一方、市委託の粗大ごみシールの販売と収集の受付、市指定のごみ袋の販売もしています。

詳細は『ゆうゆう』までお問い合わせお待ちしております。

電話〇四二一

### ★シルバー川柳★

経団連 民の被災に 知らん顔  
富める人 義捐の心 なぜ持てぬ  
菅首相 与野党向くより 民を向け

四谷 坂本 利彦  
酔い止めの薬 地震の 処方箋  
原発に 揺れる行政 便秘気味  
配分金 右肩上がりの 気配なし

片町 岡 莞弥  
被災地のトランプット少女 胸痛む

四谷 萬代 慶昭  
昼寝して 夢朦朧で おはようさん  
矢崎町 芝辻 克己

### 編集後記

公益社団法人移行後初の総会となる第62回定時総会では、議事運営にも一段の工夫・変化が加わり、従前を一新した形でセンター活動が力強くスタートいたしました。

本紙では、「振り込め詐欺」等の警鐘記事および安全関連記事の紹介があり、さらに本号の特集記事「働く会員の職場訪問記」は、初回に「新町文化センター」が採り上げられており、シリーズとして次号以降の後続記事が期待されます。

(広報委員会 三坂)





役員表彰 (川崎前監事 左)



会員表彰 (左から横山さん、白根さん)



庭木の手入れ市民向け講習



市役所の転倒防止器具受付で働く会員



文化センター業務員全体会議



西府地区地域懇談会の様子



安全パトロール (草刈作業)



安全パトロール (自転車撤去作業)



会員増強運動 1人1会員を勧誘しよう

ホームページ <http://www.fsc.or.jp/>

Eメール [fsc@fsc.or.jp](mailto:fsc@fsc.or.jp)